

加佐登/高宮村文書

受入番号	文書名	年号	西暦	差出人	宛名	形式	員数	備考
1	未年免相之事(取米合182石0499)	安永4年11月	1775	赤値所左衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安永四未年」
2	申年免相之事(取米合196石5278)	安永5年11月	1776	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安永五申年」。ノリはがれ注意
3	酉年免相之事(取米合212石424)	安永6年11月	1777	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安永六酉年」
4	戌年免相之事(取米合212石1677)	安永7年11月	1778	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安永七戌年」。ノリはがれ注意
5	亥年免相之事(取米合223石4676)	安永8年11月	1779	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安永八亥年」
6	子年免相之事(取米合245石6481)	安永9年11月	1780	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安永九子年」。ノリはがれ注意
7	丑年免相之事(取米合244石1756)	天明元年11月	1781	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明元丑」
8	寅年免相之事(取米合209石7066)	天明2年11月	1782	山口郡兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明貳寅年」。ノリはがれ注意
9	卯年免相之事(取米合226石2459)	天明3年11月	1783	山口郡兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明三卯年」。ノリはがれ注意
10	辰年免相之事(取米合243石2347)	天明4年11月	1784	山口郡兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明四辰年」
11	巳年免相之事(取米合239石4223)	天明5年11月	1785	山口郡兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明五巳年」
12	午年免相之事(取米合154石7394)	天明6年11月	1786	山口郡兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明六午年」
13	未年免相之事(取米合192石460)	天明7年11月	1787	山口郡兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明七未年」
14	申年免相之事(取米合195石8439)	天明8年11月	1788	山口郡兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天明八申年」
15	酉年免相之事(取米合214石0892)	寛政元年10月	1789	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政元酉年」
16	戌年免相之事(取米合216石0856)	寛政2年11月	1790	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政貳戌年」
17	亥年免相之事(取米合171石1075)	寛政3年11月	1791	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政三亥年」
18	子年免相之事(取米合246石4448)	寛政4年11月	1792	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政四子年」
19	丑年免相之事(取米合238石0119)	寛政5年11月	1793	林源五右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政五丑歳」
20	寅年免相之事(取米合256石6112)	寛政6年11月	1794	大沢八郎兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政六寅年」
21	卯年免相之事(取米合235石9391)	寛政7年11月	1795	大沢八郎兵衛(印)、林源五右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	
22	辰年免相之事(取米合263石0694)	寛政8年11月	1796	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政八辰」
23	巳年免相之事(取米合240石827)	寛政9年11月	1797	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政九巳」
24	午年免相之事(取米合260石9918)	寛政10年11月	1798	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政十午」
25	未年免相之事(取米合229石8195)	寛政11年11月	1799	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政十一未」
26	申年免相之事(取米合247石5293)	寛政12年11月	1800	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「寛政十二申」
27	酉年免相之事(取米合262石4136)	享和元年11月	1801	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「享和元酉」。「口拾八番・口拾九番御免相」の付箋もあり
28	戌年免相之事(取米合183石3012)	享和2年11月	1802	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「享和貳戌年」
29	亥年免相之事(取米合207合6529)	享和3年11月	1803	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「享和三亥年」
30	子年免相之事(取米合195石0479)	文化元年11月	1804	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化元子年」「高宮村」
31	丑年免相之事(取米合225石5353)	文化2年11月	1805	大沢八郎兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化二丑年」「高宮村」
32	寅年免相之事(取米合229石4699)	文化3年11月	1806	服部善右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化三寅年」「高宮村」
33	卯年免相之事(取米合223石0697)	文化4年11月	1807	服部善右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化四卯年」「高宮村」
34	辰年免相之事(取米合196石4057)	文化5年11月	1808	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化五辰年」「高宮村」
35	巳年免相之事(取米合230石2706)	文化6年11月	1809	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化六巳年」「高宮村」
36	午年免相之事(取米合247石509)	文化7年11月	1810	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化七午年」「高宮村」
37	未年免相之事(取米合237石3039)	文化8年11月	1811	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化八未年」「高宮村」
38	申年免相之事(取米合241石4736)	文化9年11月	1812	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化九申年」「高宮村」
39	酉年免相之事(取米合250石8406)	文化10年11月	1813	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化十酉年」「高宮村」
40	戌年免相之事(取米合257石3692)	文化11年11月	1814	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化十一戌」
41	亥年免相之事(取米合190石1734)	文化12年11月	1815	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化十二亥」
42	子年免相之事(取米合181石7563)	文化13年11月	1816	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化十三子」
43	丑年免相之事(取米合196石0431)	文化14年11月	1817	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文化十四丑」
44	寅年免相之事(取米合204石2509)	文政元年11月	1818	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政元寅」
45	卯年免相之事(取米合217石9501)	文政2年11月	1819	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政二卯」
46	辰年免相之事(取米合203石8678)	文政3年11月	1820	松原文太夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政三辰」
47	巳年免相之事(取米合218石5436)	文政4年11月	1821	渡辺大助(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政四巳」
48	午年免相之事(取米合203石6961)	文政5年11月	1822	渡辺大助(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政五午」
49	未年免相之事(取米合239石5326)	文政6年11月	1823	渡辺大助(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政六未」
50	申年免相之事(取米合248石2282)	文政7年11月	1824	畠山勇右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政七申」。継目を2009年に仮補修
51	酉年免相之事(取米合225石2448)	文政8年11月	1825	畠山勇右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政八酉」

52	戌年免相之事(取米合260石2145)	文政9年11月	1826	畠山勇右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政九戌」
53	亥年免相之事(取米合250石0165)	文政10年11月	1827	畠山勇右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政十亥」。継目を2009年に仮補修
54	子年免相之事(取米合227石7678)	文政11年11月	1828	畠山勇右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政十一子」。継目を2009年に仮補修
55	丑年免相之事(取米合245石4485)	文政12年11月	1829	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政十二丑」
56	寅年免相之事(取米合241石3072)	文政13年11月	1830	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文政十三寅」「天保元二改」。継目を2009年に仮補修
57	卯年免相之事(取米合261石1004)	天保2年11月	1831	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保二卯」
58	辰年免相之事(取米合246石3849)	天保3年11月	1832	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保三辰」
59	巳年免相之事(取米合249石7188)	天保4年11月	1833	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保四巳」。継目を2009年に仮補修
60	午年免相之事(取米合261石3133)	天保5年10月	1834	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保五午」
61	未年免相之事(取米合237石010)	天保6年11月	1835	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保六未」。継目を2009年に仮補修
62	申年免相之事(取米合164石2655)	天保7年11月	1836	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保七申」。継目を2009年に仮補修
63	酉年免相之事(取米合241石1388)	天保8年11月	1837	畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保八酉」
64	戌年免相之事(取米合213石6428)	天保9年10月	1838	浅田才兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保九戌」
65	亥年免相之事(取米合254石1962)	天保10年10月	1839	浅田才兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保十亥」
66	子年免相之事(取米合239石5895)	天保11年10月	1840	武井左仲、浅田才兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保十一子」
67	丑年免相之事(米合267石4809)	天保12年10月	1841	武井左仲、浅田才兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保十二丑」。ノリはずれ注意
68	寅年免相之事(取米合267石5001)	天保13年10月	1842	武井左仲(印)、浅田才兵衛、畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保十三寅」
69	卯年免相之事(取米合253石2167)	天保14年11月	1843	武井左仲(印)、浅田才兵衛(印)、畠山良右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「天保十四卯」
70	辰年免相之事(取米合252石0586)	天保15年11月	1844	武井左仲(印)、浅田才兵衛、畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	
71	巳年免相之事(取米合264石4494)	弘化2年11月	1845	武井左仲、浅田才兵衛(印) 畠山良右衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「弘化二巳」。継目を2009年に仮補修
72	巳年免相之事(71の写)	弘化2年11月	1845	武井左仲、浅田才兵衛 畠山良右衛門	庄屋、惣百姓	状	2	「助郷差村帳巻冊 巳年免相書写式通 勢州 鈴鹿郡高宮村・汲川原村」と書いた袋入り
73	巳年免相之事(汲川原村免定の写)	弘化2年11月	1845	武井左仲、浅田才兵衛 畠山良右衛門	庄屋、惣百姓	状	1	
74	乍恐以書付奉願上候(水難地であり水害時には街道の別の勤めもあるので、庄野宿助郷の勤め高のうち3分の2を免除してほしいとの歎願書)	弘化3年午正月	1846	本多伊予守領分 勢州鈴鹿郡高宮村 役人惣代 年寄 吉兵衛(印)、同領分同州同郡汲川原村 同庄屋 七兵衛(印)	道中 御奉行所様	状	1	
75	午年免相之事(取米合265石0339)	弘化3年11月	1846	松原孫兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「弘化三午」。継目を2009年に仮補修
76	未年免相之事(取米合267石6306)	弘化4年11月	1847	村瀬源太(印)、浅田戈兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「弘化四未」
77	申年免相之事(取米合255石4697)	嘉永元年11月	1848	村瀬伝大夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「嘉永元申」。継目を2009年に仮補修
78	酉年免相之事(取米合258石011)	嘉永2年11月	1849	村瀬伝大夫(印)、小川幸左衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「嘉永二酉」
79	戌年免相之事(取米合218石8544)	嘉永3年11月	1850	村瀬伝大夫(印)、小川幸左衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「嘉永三戌」。継目を2009年に仮補修
80	亥年免相之事(取米合265石6071)	嘉永4年11月	1851	林新左衛門(印)、小川幸左衛門	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「嘉永四亥」。継目を2009年に仮補修
81	子年免相之事(取米合268石1346)	嘉永5年10月	1852	村瀬伝大夫(印)、林新左衛門(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「嘉永五子」
82	丑年免相之事(取米合240石0462)	嘉永6年11月	1853	木村市兵衛(印)、村瀬伝大夫(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「嘉永六丑」
83	寅年免相之事(取米合266石3684)	嘉永7年11月	1854	村瀬伝大夫(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「嘉永七寅」
84	卯年免相之事(取米合244石9705)	安政2年11月	1855	浅田与一右衛門(印)、木村市兵衛	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安政二卯」
85	辰年免相之事(取米合250石9607)	安政3年11月	1856	木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安政三辰」
86	巳年免相之事(取米合236石3988)	安政4年11月	1857	村瀬伝大夫(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安政四巳」
87	午年免相之事(取米合212石7896)	安政5年11月	1858	村瀬伝大夫(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安政五午」
88	未年免相之事(取米合216石4632)	安政6年11月	1859	鈴木衛守(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「安政六未」
89	申年免相之事(取米合188石2235)	万延元年11月	1860	村瀬伝大夫(印)、鈴木衛守(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「万延元申」
90	酉年免相之事(取米合242石0345)	文久元年11月	1861	村瀬伝大夫(印)、鈴木衛守(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文久元酉」
91	戌年免相之事(取米合182石6069)	文久2年11月	1862	鈴木衛守(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文久二戌」
92	亥年免相之事(取米合223石6648)	文久3年11月	1863	小川幸左衛門(印)、村瀬伝大夫(印)、鈴木衛守(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「文久三亥」
93	子年免相之事(取米合213石7725)	元治元年11月	1864	小川幸左衛門(印)、鈴木衛守(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「元治元子」。「元治元子より明治四未迄 八通」と書いた括り紐を同封

94	丑年免相之事(取米合191石790)	慶応元年11月	1865	小川幸左衛門(印)、鈴木衛守(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「慶応元丑」
95	寅年免相之事(取米合157石6595)	慶応2年11月	1866	小川幸左衛門(印)、鈴木衛守(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「慶応二寅」
96	卯年免相之事(取米合267石7824)	慶応3年11月	1867	小川幸左衛門(印)、木村市兵衛	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「慶応三卯」
97	辰年免相之事(取米合152石3626)	明治元年11月	1868	村瀬伝大夫(印)、木村市兵衛(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「明治元辰」
98	巳年免相之事(取米合162石736)	明治2年11月	1869	小川幸左(印)、村瀬伝太平(印)、小川鱗蔵(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏貼紙「明治貳巳」
99	覚(畝引・用捨高の通知)	明治2年11月	1869	戸間肇(印)、竹内静男(印)、杉村平七(印)	高宮村 庄屋・惣百姓	状	1	「巳歳被下書 神戸支配高宮村」と書いた包紙入り
100	午年免相之事(取米合176石6498)	明治3年庚午11月	1870	神戸藩庁(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏書「明治三庚午歳」
101	未年免相之事(取米合250石2023)	明治4年11月	1871	神戸県庁(印)	庄屋、惣百姓	状	1	端裏書「明治四未歳」
102	未年免相定之事(取米37石042)	安永4年乙未10月28日	1775	多田猪右衛門(印)、馬場彦太夫(印)、新武助(印)	庄屋、百姓中	状	1	高82石94。定免
103	申年免相定之事(取米37石042)	安永5年丙申10月28日	1776	多田猪右衛門(印)、近藤伊太夫(印)、生田理左衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安永五申」
104	酉年免相定之事(取米37石042)	日	1777	原喜太夫(印)、近藤伊大夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安永六酉」
105	戌年免相定之事(取米37石285)	安永7年戊戌10月28日	1778	多田猪右衛門(印)、松井嘉太右衛門(印)、生田理左衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	定免。端裏貼紙「安永七戌年」
106	亥年免相定之事(取米37石285)	安永8年己亥10月28日	1779	多田猪右衛門(印)、杉田藤左衛門(印)、松井嘉太右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安永八亥」
107	子年免相定之事(取米37石285)	安永9年庚子10月28日	1780	桜木勝平(印)、香取半右衛門(印)、馬場彦太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	
108	丑年免相定之事(取米37石285)	日	1781	桜木勝平(印)、松井嘉太右衛門	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天明元丑」
109	寅年免相定之事(取米37石285)	天明2年壬寅10月28日	1782	桜木勝平(印)、多田猪右衛門(印)、松井嘉太右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天明二寅」
110	卯年免相定之事(取米35石945)	天明3年癸卯10月28日	1783	多田猪右衛門(印)、香取半右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天明三卯」
111	辰年免相定之事(取米36石496)	天明4年甲辰10月28日	1784	桜木勝平(印)、服部滝右衛門(印)、名川沢右衛門(印)、馬場彦太夫	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天明四辰」
112	巳年免相定之事(取米37石689)	天明5年乙巳10月28日	1785	多田猪右衛門(印)、名川沢右衛門(印)、馬場彦太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	
113	午年免相定之事(取米37石689)	天明6年丙午閏10月28日	1786	松室伴右衛門(印)、服部滝右工門(印)、山本奎太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天明六午」
114	未年免相定之事(取米34石857)	天明7年丁未10月28日	1787	松室伴右衛門(印)、桜木勝平(印)、服部瀧右衛門(印)、多田猪右衛門(印)、伴安兵衛(印)、山本奎太夫	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天明七未」
115	申年免相定之事(取米36石476)	天明8年戊申10月28日	1788	桜木勝平(印)、服部滝右衛門(印)、生田幾之右衛門(印)、山本奎太夫	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天明八申」
116	酉年免相定之事(取米36石476)	寛政元年己酉10月28日	1789	岡本兵左衛門(印)、松室伴右衛門(印)、山本奎太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	
117	戌年免相定之事(取米38石337)	寛政2年庚戌10月28日	1790	松室伴右衛門(印)、中川九郎左衛門(印)、山本奎太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政二戌」
118	亥年免相定之事(取米38石337)	寛政3年辛亥10月28日	1791	渡部正兵衛(印)、桜木勝平(印)、中川九郎左衛門、生田幾之右衛門	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政三亥」
119	子年免相定之事(取米36石718)	寛政4年壬子10月28日	1792	松本友右衛門(印)、松室伴右衛門(印)、伴安兵衛(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政四子」
120	丑年免相定之事(取米38石499)	寛政5年癸丑10月28日	1793	渡部正兵衛(印)、桜木勝平(印)、伴安兵衛(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政五丑」
121	寅年免相定之事(取米37石689)	寛政6年甲寅10月28日	1794	松本友右衛門(印)、中川九郎左衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政六寅」
122	卯年免相定之事(取米39石065)	寛政7年乙卯10月28日	1795	山村三郎兵衛(印)、村岡八郎兵衛(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政七卯」
123	辰年免相定之事(取米38石094)	寛政8年丙辰10月28日	1796	渡部正兵衛(印)、松本友右衛門(印)、山中為右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政八辰」

124	巳年免相定之事(取米39石065)	寛政9年丁巳10月28日	1797	渡部正兵衛(印)、松室伴右衛門(印)、村岡八郎兵衛(印)、山中為右	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政九巳」
125	午年免相定之事(取米39石065)	寛政10年戊午10月28日	1798	渡部正兵衛(印)、近藤七郎兵衛(印)、半田吉太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政十午」
126	未年免相定之事(取米39石065)	寛政11年己未10月28日	1799	小林善平(印)、近藤七郎兵衛(印)、半田吉太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政十一未」
127	申年免相定之事(取米38石822)	寛政12年庚申10月28日	1800	小林善平(印)、近藤七郎兵衛(印)、山中為右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「寛政十二申」
128	酉年免相定之事(取米38石822)	享和元年辛酉10月28日	1801	都築小兵衛(印)、鈴木三五右衛門(印)、山中為右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「享和元酉」
129	戌年免相定之事(取米38石822)	享和2年壬戌10月28日	1802	松本友右衛門(印)、都築小兵衛(印)、近藤七郎兵衛(印)、山中為右	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「享和二戌年」
130	亥年免相定之事(取米37石851)	享和3年癸亥10月28日	1803	松本友右衛門(印)、小林善平、近藤七郎兵衛(印)、半田吉太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「享和三亥年」
131	子年免相定之事(取米39石065)	文化元年甲子10月28日	1804	中田紋兵衛、都築小兵衛(印)、近藤七郎兵衛(印)、半田吉太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化元子年」
132	丑年免相定之事(取米38石822)	文化2年乙丑10月28日	1805	中田紋兵衛(印)、都築小兵衛(印)、鈴木三五右衛門(印)、半田吉太夫	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化二丑年」「亀山領高宮村」
133	寅年免相定之事(取米39石065)	文化3年丙寅10月28日	1806	中田紋兵衛(印)、松本友右衛門(印)、西村重八(印)、山中為右衛門	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化三寅年」「亀山領高宮村」
134	卯年免相定之事(取米39石065)	文化4年丁卯10月28日	1807	宇野忠平(印)、松本友右衛門(印)、西村重八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化四卯年」「亀山領高宮村」
135	辰年免相定之事(取米38石418)	文化5年戊辰10月28日	1808	宇野忠平、都築小兵衛(印)、山中為右衛門(印)、西村重八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化五辰年」「亀山領高宮村」
136	巳年免相定之事(取米37石770)	文化6年己巳10月28日	1809	中田紋兵衛(印)、都築小兵衛(印)、中川七右衛門(印)、鈴木三五右衛門	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化六巳年」「亀山領高宮村」
137	午年免相定之事(取米38石418)	文化7年庚午10月28日	1810	中田紋兵衛(印)、松本四郎太夫(印)、中川七右衛門(印)、鈴木三五右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化七午年」「亀山領高宮村」
138	未年免相定之事(取米39石065)	文化8年辛未10月28日	1811	堀池六大夫(印)、宇野忠平、松本四郎太夫(印)、中川七右衛門(印)、鈴木三五右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化八未年」「亀山領高宮村」
139	申年免相定之事(取米38石661)	文化9年壬申10月28日	1812	田中畔兵衛(印)、中田紋兵衛(印)、山中為右衛門(印)、西村重八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化九申年」「亀山領高宮村」
140	酉年免相定之事(取米38石661)	文化10年癸酉10月28日	1813	田中畔兵衛(印)、中田紋兵衛(印)、山中為右衛門(印)、中川七右衛門	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化十酉年」「亀山領高宮村」
141	戌年免相定之事(取米38石013)	文化11年甲戌10月28日	1814	多良庄蔵(印)、宇野忠平(印)、山中為右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化十一戌」
142	亥年免相定之事(取米38石661)	文化12年乙亥10月28日	1815	多良弥一右衛門(印)、中田紋兵衛(印)、平井嘉兵衛(印)、中川七右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化十二亥」
143	子年免相定之事(取米37石851)	文化13年丙子10月28日	1816	小柳俊八(印)、田中畔兵衛(印)、堀池六大夫、平井嘉兵衛(印)、西村重八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化十三子」
144	丑年免相定之事(取米37石851)	文化14年丁丑10月28日	1817	原臍兵衛(印)、田中畔兵衛(印)、中川七右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文化十四丑」
145	寅年免相定之事(取米39石065)	文政元年戊寅10月28日	1818	小柿三次兵衛(印)、多良弥一右衛門(印)、酒井完治(印)、西村重八	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政元寅」
146	卯年免相定之事(取米38石418)	文政2年己卯10月28日	1819	原臍兵衛(印)、多良弥一右衛門(印)、酒井完治(印)、天野儀太夫	庄屋、百姓中	状	1	
147	辰年免相定之事(取米39石065)	文政3年庚辰10月28日	1820	小柿三次兵衛(印)、堀池央右衛門(印)、小林善平(印)、天野儀太夫(印)、西村重八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政三辰」
148	巳年免相定之事(取米38石418)	文政4年辛巳10月28日	1821	片山太右衛門(印)、原臍兵衛(印)、小林善平(印)、天野儀太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政四巳」
149	午年免相定之事(取米38石418)	文政5年壬午10月28日	1822	原臍兵衛(印)、山本孫右衛門(印)、小林善平(印)、酒井完治(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政五午」

150	未年免相定之事(取米38石013)	文政6年癸未10月28日	1823	薬師川藤一(印)、片山太右衛門(印)、堀池央右衛門(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政六未」
151	申年免相定之事(取米39石065)	文政7年甲申10月28日	1824	原臍兵衛(印)、堀池央右衛門(印)、山本孫右衛門(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政七申」
152	酉年免相定之事(取米38石418)	文政8年乙酉10月28日	1825	薬師川藤一(印)、原臍兵衛(印)、山本孫右衛門(印)、小林善平(印)、名川泰全(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政八酉」
153	戌年免相定之事(取米37石770)	文政9年丙戌10月28日	1826	薬師川藤一(印)、片山太右衛門(印)、山本孫右衛門(印)ほか3名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政九戌」
154	亥年免相定之事(取米39石065)	文政10年丁亥10月28日	1827	杉本一右衛門(印)、片山太右衛門(印)、堀池央右衛門(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政十亥」
155	子年免相定之事(取米38石256)	文政11年戊子10月28日	1828	杉本一右衛門(印)、原臍兵衛(印)、由良溪右衛門(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政十一子」
156	丑年免相定之事(取米37石609)	文政12年己丑10月28日	1829	薬師川藤一(印)、原臍兵衛(印)、山本孫右衛門(印)ほか3名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政十二丑」
157	寅年免相定之事(取米38石822)	文政13年庚寅10月28日	1830	難波甚右衛門(印)、片山太右衛門(印)、堀池央右衛門ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文政十三寅」
158	卯年免相定之事(取米38石013)	天保2年辛卯10月28日	1831	難波甚右衛門(印)、薬師川藤一(印)、堀池央右衛門ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保二卯」
159	辰年免相定之事(取米38石822)	天保3年壬辰10月28日	1832	杉本一右衛門(印)、薬師川藤一(印)、山本孫右衛門(印)、平岩道八	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保三辰」
160	(欠番 文書なし)							(天保4年の免定なし)
161	午年免相定之事(取米37石365)	天保5年甲午10月28日	1834	難波甚右衛門(印)、薬師川藤一(印)、平岩道八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保五午」
162	未年免相定之事(取米38石822)	天保6年乙未10月28日	1835	難波甚右衛門(印)、片山太右衛門、平岩道八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保六未」
163	申年免相定之事(取米37石932)	天保7年丙申10月28日	1836	三島権内(印)、薬師川藤一(印)、鈴木角右衛門(印)、平岩道八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保七申」
164	酉年免相定之事(取米37石123)	天保8年丁酉10月28日	1837	難波甚右衛門(印)、薬師川藤一(印)、鈴木角右衛門(印)、中川半之丞	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保八酉」
165	戌年免相定之事(取米38石175)	天保9年戊戌10月28日	1838	堀土俊右衛門(印)、三島権内(印)、杉本一右衛門(印)、中川半之丞	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保九戌」
166	亥年免相定之事(取米37石609)	天保10年己亥10月28日	1839	山口久六(印)、三島権内(印)、鈴木角右衛門(印)、中川半之丞	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保十亥」
167	子年免相定之事(取米38石904)	天保11年庚子10月28日	1840	堀土俊右衛門(印)、三島権内(印)、杉本一右衛門、平岩道八(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保十一子」
168	丑年免相定之事(取米38石256)	天保12年辛丑10月28日	1841	佐藤安右衛門(印)、堀土俊右衛門(印)、難波甚右衛門(印)、中川半之丞	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保十二丑」
169	寅年免相定之事(取米38石904)	天保13年壬寅10月28日	1842	佐藤安右衛門(印)、三島権内(印)、難波甚右衛門、鈴木角右衛門ほか	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保十三寅」
170	卯年免相定之事(取米38石904)	天保14年癸卯10月28日	1843	佐藤安右衛門(印)、山口久六(印)、難波甚右衛門(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「天保十四卯」
171	辰年免相定之事(取米38石904)	天保15年甲辰10月28日	1844	佐藤安右衛門(印)、難波甚右衛門(印)、天野儀太夫(印)、鈴木角右衛門	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「弘化元辰」
172	巳年免相定之事(取米38石499)	弘化2年乙巳10月28日	1845	関慶右衛門(印)、難波甚右衛門(印) 佐藤喜右衛門	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「弘化二巳」
173	午年免相定之事(取米38石499)	弘化3年丙午10月28日	1846	原再兵衛(印)、関慶右衛門(印)、堀池央右衛門、佐藤喜右衛門(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「弘化三午」
174	未年免相定之事(取米38石904)	弘化4年丁未10月28日	1847	関久蔵(印)、難波甚兵衛(印)、小林武平(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「弘化四未」
175	申年免相定之事(取米38石904)	嘉永元年戊申10月28日	1848	小柿保平(印)、佐藤安兵衛(印)、堀池央太夫、佐藤四兵衛(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「嘉永元申」
176	酉年免相定之事(取米38石175)	嘉永2年己酉10月28日	1849	小柿保平(印)、原再兵衛(印)、堀池央太夫、天野儀太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「嘉永二酉」

177	成年免相定之事(取米37石851)	嘉永3年庚戌10月28日	1850	小柿保平(印)、小川七平(印)、岡久蔵(印)、堀池央太夫、佐藤四兵衛	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「嘉永三戌」
178	亥年免相定之事(取米37石123)	嘉永4年辛亥10月28日	1851	佐藤安兵衛(印)、堀池央太夫、天野儀太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「嘉永四亥」
179	子年免相定之事(取米38石499)	嘉永5年壬子10月28日	1852	片山要八(印)、佐藤安兵衛(印)、半田吉太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「嘉永五子」
180	丑年免相定之事(取米38石904)	嘉永6年癸丑10月28日	1853	多良権之丞(印)、小川七平(印)、佐藤源蔵(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「嘉永六丑」
181	寅年免相定之事(取米39石065)	嘉永7年甲寅10月28日	1854	片山要八(印)、原佐五太夫(印)、関久蔵(印)、村岡八郎兵衛(印)ほか1	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「嘉永七寅」
182	卯年免相定之事(取米38石499)	安政2年乙卯10月28日	1855	松井喜兵衛(印)、片山要八(印)、関喜右衛門、村岡八郎兵衛(印)ほか	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安政二卯」
183	辰年免相定之事(取米38石904)	安政3年丙辰10月28日	1856	松井喜兵衛(印) 原佐五太夫(印) 村岡八郎兵衛(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安政三辰」
184	巳年免相定之事(取米39石065)	安政4年丁巳10月28日	1857	田中孫太夫(印)、片山要八(印)、関喜右衛門、天野儀太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安政四巳」
185	午年免相定之事(取米38石499)	安政5年戊午10月28日	1858	松井喜兵衛(印)、多良権之丞(印)、原佐五太夫(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安政五午」
186	未年免相定之事(取米38石499)	安政6年己未10月28日	1859	岡孫四郎(印)、松井喜兵衛(印)、多良権之丞(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「安政六未」
187	申年免相定之事(此取米38石904)	万延元年庚申10月28日	1860	西条元太夫(印)、渡部直兵衛(印)、松井喜兵衛(印)、多良権之丞ほか	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「万延元申」
188	酉年免相定之事(取米38石094)	文久元年辛酉10月28日	1861	西条元太夫(印)、岡孫四郎(印)、田中孫太夫、片山要八(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文久元酉」
189	戌年免相定之事(取米39石065)	文久2年壬戌10月28日	1862	西条元太夫(印)、田中孫太夫(印)、松井喜兵衛、片山要八(印)ほか2	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文久二戌」
190	亥年免相定之事(取米38石175)	文久3年癸亥10月28日	1863	勝田耕助(印)、渡部直兵衛(印)、片山要八、柴田俊介(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「文久三亥」
191	子年免相定之事(取米39石065)	元治元年甲子10月28日	1864	宇野十太夫(印)、勝田耕助(印)、渡部直兵衛(印)、半田吉太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「元治元子」
192	丑年免相定之事(取米38石661)	慶応元年乙丑10月28日	1865	宇野十太夫(印)、中田伝九郎(印)、岡孫四郎(印)、伴連太夫(印)	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「慶応元丑」
193	寅年免相定之事(取米37石285)	慶応2年丙寅10月28日	1866	桜井太兵衛(印)、山口栄太夫(印)、多良権之丞(印)、山崎弘人ほか1	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「慶応二寅」
194	卯年免相定之事(取米36石232)	慶応3年丁卯10月28日	1867	吉田範右衛門(印)、河路源左衛門(印)、岡孫四郎(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	端裏貼紙「慶応三卯」
195	辰年免相定之事(取米39石065)	明治元年戊辰10月28日	1868	桜井太兵衛(印)、宇野十太夫(印)、河路源左衛門(印)ほか2名	庄屋、百姓中	状	1	「明治元年 辰御免状 高宮村」と書いた包紙を冒頭に貼ってある
196	巳年免相定之事(取米38石285)	明治2年己巳10月28日	1869	勝田耕平(印)、堀池潜龍(印)	庄屋、百姓中	状	1	「巳年御免状 高宮村」と書いた包紙を冒頭に貼ってある
197	午年免相定之事(取米37石718)	明治3年庚午10月28日	1870	亀山藩民政掛(印)、新大属(印)、堀池大属(印)	—	状	1	「明治三 庚午年御免状 高宮村」と書いた包紙を冒頭に貼ってある
198	未年免相定之事(取米38石285)	明治4年辛未10月28日	1871	亀山県(印)	—	状	1	
199	送り一札之事(久作姉のいとが嫁に行くにつき)	天保9年戌3月	1838	神戸領 鈴鹿郡高宮村 庄屋 岡田与三右衛門(印)	御公領庄野宿 御庄屋 小林小兵衛殿	状	1	
200	送り一札之事(惣右衛門孫のたまが嫁に行くにつき)	天保11年子2月	1840	神戸領高宮村 庄屋 岡田与三右衛門(印)	御公領庄野宿 庄屋 小林小兵衛殿	状	1	「送り一札 庄野宿江 高宮村」と書いた包紙入り
201	送り一札之事(九兵衛娘のひのが嫁に行くにつき)	天保15年辰2月	1844	御公領 三重郡塩浜村 年寄 今村善三郎(印)・辻六右衛門(印)	神戸御領高宮村 御年寄 小河吉兵衛殿・尾藤武兵衛殿	状	1	「利左衛門妻 送り一札入 三重郡塩浜村より」と書いた包紙入り
202	受込一札之事(善四郎妹のいとが嫁に来るにつき)	天保15年辰2月	1844	紀州御領 白子町庄屋 寺村五郎兵衛(印)	神戸領 高宮村 年寄 尾藤武兵衛殿・小河吉兵衛殿	状	1	「善四郎妹 受込一札 高宮村江 白子村」と書いた包紙入り
203	送り一札之事(休治妹の加濃が嫁に行くにつき)	天保15年辰3月	1844	亀山領伊船村 庄屋 真弓専助・岡本彦右衛門(印)	神戸御領高宮村 年寄 小河吉兵衛殿・尾藤武兵衛殿	状	1	「甚助妻 送り一札 高宮村江 伊船村より」と書いた包紙入り

204	請込一札(庄三郎娘いのが嫁に来るにつき)	天保15年辰6月	1844	亀山領 北若松村 庄屋 長右衛門(印)・佐野兵太夫(印)	神戸御領 高宮村 庄屋 七兵衛殿	状	1	「庄三郎娘 請込一札 高宮村へ 北若松村より」と書いた包紙入り
205	送一札之事(半右衛門娘みつが嫁に行くにつき)	天保15年辰7月	1844	亀山領長沢村 庄屋 羽田栄蔵(印)	神戸領高宮村 年寄 小河吉兵衛殿・尾藤武兵衛殿	状	1	「五右衛門妻 送一札 長沢村」と書いた包紙入り
206	送一札之事(浅右衛門が子どもとともに養子に行くにつき)	天保15年辰8月	1844	朝明郡山城村 庄屋 新太郎(印)、同村 信明寺(印)	神戸領高宮村 御庄屋 岡田与三右衛門殿	状	1	「送一札 高宮村へ 浅右衛門 朝明郡山城村より」と書いた包紙入り
207	送一札之事(重五郎娘のきぬが嫁に行くにつき)	弘化2年巳6月	1845	神戸領 高宮村 兼帯庄屋 汲川原村 市川七兵衛(印)	亀山宿西町 御問屋 若林亀六殿、御庄屋 水谷甚四郎殿、御年寄 伊東太四郎殿	状	1	「十五郎娘亀山より縁返り 送一札 高宮村」と書いた包紙入り
208	送一札之事(弥曾兵衛娘のけいが嫁に行くにつき)	弘化3年午2月	1846	亀山領鈴鹿郡 国府村 庄屋 森覚左衛門(印)	神戸御領高宮村 兼帯庄屋 汲川原村 市川七兵衛殿	状	1	「卯右衛門妻 送一札 高宮村え 国府村より」と書いた包紙入り
209	送一札之事(惣兵衛妹のきとが嫁に行くにつき)	弘化3年午6月	1846	小笠原弥八郎知行所 河曲郡柳村 庄屋代 加藤助右衛門(印)	神戸御領高宮村 兼帯庄屋 汲川原村 市川七兵衛殿	状	1	「六兵衛妻の 送一札 高宮村へ 柳村」と書いた包紙入り
210	送一札之事(津九右衛門娘のちかが嫁に行くにつき)	弘化4年未3月18日	1847	御料 石薬師宿 名主 岡田忠右衛門(印)	神戸御領分 高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「送一札 条七妻 石薬師宿」と書いた包紙入り
211	送一札之事(伊助娘のよつが嫁に行くにつき)	弘化4年未6月	1847	亀山領 当国鈴鹿郡 道伯新田庄屋 鎌田七郎兵衛(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「送一札 高宮村え 道伯新田より 半七倅清兵衛妻」と書いた包紙入り
212	請込一札之事(六助孫の源助を養子に迎えるにつき)	弘化4年未8月	1847	亀山領 国府村庄屋 宮崎小兵衛(印)	神戸領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「請込一札 六助孫源介 高宮村え 国府村」と書いた包紙入り
213	送一札之事(不縁により、まうと娘2人を戻すにつき)	弘化4年未9月	1847	津領三重郡 貝塚村 庄屋 瀧川伝兵衛(印)	神戸領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「送一札 高宮村へ浅右衛門 三重郡 貝塚村」と書いた包紙入り
214	送一札之事(七兵衛娘のすてが嫁に行くにつき)	弘化5年申2月	1848	小笠原弥八郎知行所 白子江島庄屋 杉本源四良(印)	神戸御領分 高宮村庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「市左衛門妻 宗旨送一札 高宮村え 白子江島」と書いた包紙入り
215	送一札之事(卯兵衛娘のはまが嫁に行くにつき)	嘉永元年申6月	1848	亀山領鈴鹿郡 下大久保村庄屋 田中仁兵衛(印)	神戸御領高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「送一札并宗旨送 喜三郎倅菊松妻送一札 高宮村え 下大久保村より」と書いた包紙入り
216	送一札之事(伝七娘の小さいとが嫁に行くにつき)	嘉永元年戊申9月	1848	高須領 石津郡福岡村 庄屋 庄左衛門(印)	神戸領 高宮村庄屋 吉右衛門殿	状	1	「送一札 濃州福岡村伝七娘新右衛門へ入妻」と書いた包紙入り
217	送一札之事(仲八妹のときが嫁に行くにつき)	嘉永2年酉3月	1849	亀山領小社村庄屋 岡田佐一郎(印)	神戸御領高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「送一札 吉通 治右衛門倅治兵衛妻送一札 高宮村え 小社村」と書いた包紙入り
218	請込一札(善蔵娘のふのが嫁に来るにつき)	嘉永2年酉6月	1849	亀山領甲斐村 庄屋 藪田源蔵(印)・同源之助(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「善蔵女子ふの縁付 請込一札 高宮村え 従甲斐村」と書いた包紙入り
219	送一札之事(又八娘のひさが嫁に行くにつき)	嘉永2年酉8月	1849	亀山領 鈴鹿郡原尾村庄屋 佐藤宗兵衛(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「新助倅新兵衛妻 送一札 高宮村え 原尾村」と書いた包紙入り
220	請込一札之事(治右衛門娘まつが嫁に来るにつき)	嘉永3年戌3月	1850	津領河曲郡 玉垣村庄屋 玉置勘左衛門(印)・森田源吉(印)	神戸御領高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「請込一札 高宮村え 玉垣村より」と書いた包紙入り
221	請込一札(武兵衛倅の勝之助が養子に来るにつき)	嘉永3年戌6月	1850	亀山領鈴鹿郡 鹿間村庄屋 藤井又一郎(印)	神戸御領鈴鹿郡 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「請込一札 武兵衛倅養子二行書 高宮村へ鹿間村より」と書いた包紙入り
222	請込一札之事(次郎助倅の甚蔵が養子に来るにつき)	嘉永3年戌11月	1850	津領河曲郡 玉垣村庄屋 玉置勘左衛門(印)・森田源吉(印)	神戸御領鈴鹿郡 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「治郎助倅甚蔵養子請込 請込一札 高宮村え 玉垣村より」と書いた包紙入り
223	請込一札之事(庄三郎兄の庄太郎が出稼に行くにつき)	嘉永4年亥3月	1851	御公料庄野宿 庄屋 小林小兵衛(印)	神戸御領分高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「庄ノ宿より庄太郎請込 請込一札 高宮村え 庄野宿」と書いた包紙入り
224	送一札之事(小左衛門妹のよそが嫁に行くにつき)	嘉永4年亥3月	1851	御公料 采女村庄屋 坂弥右衛門(印)	神戸御領分高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「伝九郎妻二采女村より来ル 送一札 采女村」と書いた包紙入り
225	請込一札(多右衛門倅の佐吉が養子に来るにつき)	嘉永4年亥6月	1851	亀山領伊船村 庄屋 伴弥五兵衛(印)	神戸御領高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「多右衛門男子佐吉 請込一札 高宮村え 伊船村より」と書いた包紙入り
226	宗門送一札之事(三右衛門妹のこまが嫁に行くにつき)	嘉永4年亥8月	1851	当国桑名領 大貝須村庄屋 栗田理右衛門(印)	神戸御領 勢州鈴鹿郡高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「宗左衛門妻 宗門送一札 高宮村え 桑名領大貝須村」と書いた包紙入り
227	宗門人別請込状之事(条七娘のきとが嫁に来るにつき)	嘉永5年子2月	1852	津領 大部田村庄屋 水谷五郎右衛門(印)	神戸御領高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「宗門人別請込一札 条七娘一札 高宮村へ大部田村より」と書いた包紙入り
228	送一札之事(多七妹こと60歳が嫁に行くにつき)	嘉永5年子3月	1852	勢州員弁郡桑名領 丹生川中村 年寄 専蔵(印)	神戸御領 高宮村 庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「長七妻二来ル 送一札 高宮村へ 丹生川中村より」と書いた包紙入り
229	請込一札之事(和助妹のふじが嫁に来るにつき)	嘉永5年子5月	1852	亀山領上田村 庄屋 藤田伝八郎(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「和助妹ふじ 請込一札 高宮村え 上田村」と書いた包紙入り

230	請込一札之事(久兵衛妹りかが嫁に来るにつき)	嘉永5年子6月	1852	紀州御領安芸郡寺家村 庄屋 長谷川勘右衛門(印)	神戸領高宮村 庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「久兵衛妹りか寺家行 請込一札 高宮村へ寺家村」と書いた包紙入り
231	宗旨払一札(清三妹つしが嫁に行くにつき)	嘉永5年子8月	1852	藤堂和泉守領分 伊州山田郡畑村庄屋 大井幸三郎(印)	本多伊予守様御領分 勢州鈴鹿郡高宮村 庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「茂八悴長蔵妻送り一通 宗旨払壱通 勢州高宮村え 伊州畑村より」と書いた包紙入り
232	請込一札之事(幸助娘しけが嫁に来るにつき)	嘉永5年子9月	1852	神戸領鈴鹿郡 高宮村庄屋 小河吉右衛門(印)	津御領飯野郡 豊原村庄屋 奥田文蔵殿	状	1	
233	請込一札之事(十郎右衛門娘ことが嫁に来るにつき)	嘉永5年子	1852	御公料 庄野宿 庄屋 小林小兵衛(印)	神戸御領分高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「十郎右衛門娘庄ノ清太夫へ縁付 請込一札 高宮村え 庄野宿」と書いた包紙入り
234	請込一札之事(幸右衛門姉むめが嫁に来るにつき)	嘉永6年丑3月	1853	御公料 庄野宿 庄屋 小林小兵衛(印)	神戸御領分高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「幸右衛門姉むめ 請込一札 高宮村え 庄野宿」と書いた包紙入り
235	請込一札之事(幸右衛門妹とはが厄介として行くにつき)	嘉永6年癸丑6月	1853	関宿問屋 川北久左衛門(印)、同見習川北久次郎(印)、宿方取締問屋格 布施莊兵衛(印)、年寄 服部吉郎兵衛	本多伊予守様御領分 高宮村 小河吉右衛門殿	状	1	「幸右衛門妹関へ嫁入 請込 高宮村え 関宿」と書いた包紙入り
236	請込一札之事(八右衛門娘とよが嫁に来るにつき)	嘉永6年癸丑6月	1853	亀山領 津賀村庄屋 酒井孫八郎(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「八右衛門娘津賀行 請込一札 高宮村え 津賀村」と書いた包紙入り
237	請込一札之事(武兵衛娘としが嫁に来るにつき)	嘉永7年甲寅2月	1854	三重郡菰野領 小山村庄屋 豊住嘉吉(印)	鈴鹿郡神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「武兵衛娘とし 受込一札 高宮村へ 小山村より」と書いた包紙入り
238	受込一札之事(十五郎娘りうが嫁に来るにつき)	嘉永7年寅6月	1854	亀山領岡田村 庄屋 伊藤五兵衛(印)	神戸領高宮村 庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「請込一札 十五郎娘りう 高宮村へ 岡田村より」と書いた包紙入り
239	送一札之事(七兵衛姉はるが嫁に行くにつき)	嘉永7年寅8月	1854	亀山領下大久保村 庄屋 田中仁兵衛(印)	神戸御領 高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「富三郎妻 送り一札 高宮村え 亀山領下大久保村より」と書いた包紙入り
240	請込一札之事(伊右衛門娘ちよが嫁に来るにつき)	安政2年卯正月	1855	御公料 庄野宿 庄屋 小林小兵衛(印)	神戸御領分 高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「伊右衛門娘ちよ 請込一札 高宮村え 庄野宿」と書いた包紙入り
241	請込一札之事(弥七妹とみが嫁に来るにつき)	安政2年卯2月	1855	亀山宿 茶屋町 名主 米川平八(印)・米川万治(印)	神戸御領分 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「弥七妹亀山縁付 請込一札 高宮村え 亀山宿 茶屋町」と書いた包紙入り
242	請込一札(平右衛門妹ちかが嫁に来るにつき)	嘉永7年寅6月	1854	亀山領原村 庄屋 原勇治(印)	神戸御領分高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「平右衛門妹ちか 請込一札 高宮村え 原村より」と書いた包紙入り
243	請込申一札之事(平右衛門妹しもが嫁に来るにつき)	安政2年卯6月	1855	関木崎町 庄屋 山中奎兵衛(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「平右衛門妹しも 請込一札 関宿」と書いた包紙入り
244	請込一札之事(治右衛門悴の治郎兵衛が養子に来るにつき)	安政2年卯7月	1855	桑名領員弁郡西之新田 庄屋 川崎九十郎(印)	神戸御領分 鈴鹿郡高宮村 庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「治右衛門悴口へ行 受込一札 西之新田」と書いた包紙入り
245	請込一札之事(幸次郎娘ちゑが嫁に来るにつき)	安政2年卯7月	1855	紀伊殿領分 上野駅庄屋 別所兵助(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「上野行幸次郎娘 請込一札 高宮村え 上野駅より」と書いた包紙入り
246	宗旨送り一札之事(太郎吉娘みしが嫁に行くにつき)	安政3年辰5月	1856	紀州御領 中別保村庄屋 坂惣兵衛(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「善四郎悴寅吉妻送り 送り一札入 高宮村え 中別保村より」と書いた包紙入り
247	宗旨請込一札之事(新助娘たねが嫁に来るにつき)	安政3年辰12月	1856	津領安濃郡 分部村庄屋 前田弥三郎(印)	神戸御領鈴鹿郡 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「新助娘ため 宗旨請込一札 高宮村え 分部村より」と書いた包紙入り
248	請込一札(茂八娘きくが養女に来るにつき)	安政4年巳2月	1857	津領久居附 一志郡小山村庄屋 大谷周蔵(印)	神戸領鈴鹿郡 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「茂八娘きく 請込一札 鈴鹿郡高宮村へ 一志郡小山村より」と書いた包紙入り
249	送り一札之事(善五郎妹よそが嫁に行くにつき)	安政4年巳2月	1857	菰野領山田村庄屋 長田幸吉郎(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「政右衛門悴治郎左衛門妻 送一札 山田村」と書いた包紙入り
250	受込一札之事(渡辺休兵衛娘りきが嫁に来るにつき)	安政4年巳閏5月	1857	亀山領鈴鹿郡南小松村庄屋 種瀬作平(印)・佐藤又次郎(印)	神戸御領鈴鹿郡 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「林兵へ娘りき 受込一通 高宮村へ 南小松村より」と書いた包紙入り
251	請込一札之事(新助娘しんが嫁に来るにつき)	安政4年巳7月	1857	有馬領西林崎村 庄屋 西尾庄吉郎(印)	神戸領高宮村 庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「新助娘しん 請込一札 西林崎村」と書いた包紙入り
252	人別送り返書之事(又吉悴の倉吉が松林庵弟子として来るにつき)	安政4年巳11月	1857	松平伊賀守領分 信州上田城下町問屋 柳沢太郎兵衛(印)	本多内膳様御領分 勢州鈴鹿郡高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「安政四年巳十一月又吉悴倉吉 人別送返書 信州上田城下町」と書いた包紙入り
253	請込一札之事(伊右衛門姪そのが嫁に来るにつき)	安政4年巳11月	1857	御公料 庄野宿 庄屋 小林小兵衛(印)	神戸御領分 高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「伊右衛門娘その安政四巳十一月 請込一札 高宮村え 庄野宿」と書いた包紙入り
254	宗旨送り一札之事(次兵衛娘いのが嫁に行くにつき)	安政5年午正月	1858	紀州御領 勢州安芸郡白子村 庄屋 八木五兵衛(印)	神戸領 鈴鹿郡高宮村 庄屋 小河吉左(ママ)衛門殿	状	1	「安政五年午正月権之助妻 宗旨送り一札 高宮村へ 白子村」と書いた包紙入り
255	送一札之事(幸治郎娘よそが嫁に行くにつき)	安政5年午2月	1858	神戸領 上田村庄屋 市川喜平治(印)	同領 高宮村 小河吉右衛門殿	状	1	「安政五年午二月八兵衛後妻 送り一札 高宮村え 上田村」と書いた包紙入り



256	人別送一札(九郎兵衛娘かるが嫁に行くにつき)	安政5年午2月	1858	亀山領 鈴鹿郡長沢村庄屋 羽田宇右衛門(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「安政五年二月 人別送一札 彦右衛門倅嘉蔵へ縁付 神戸御領高宮村え 亀山領鈴鹿郡長沢村より」と書いた包紙入り
257	送り証文之事(利兵衛娘りくが嫁に行くにつき)	安政5年午5月	1858	亀山領 深溝村庄屋 丹羽孫太郎(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「送り証文 和助妻一札 安政五年五月 高宮村え 深溝村より」と書いた包紙入り
258	請込一札之事(長介の厄介人3名を貰うけるにつき)	安政6年未正月	1859	亀山宿東町 庄屋 糟谷市太郎(印)・中野嘉兵衛(印)・牧野甚兵衛(印)	神戸領高宮村庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「安政六未正月鉄助家内三人請込 請込一札 亀山東町より」と書いた包紙入り
259	送り一札之事(庄七娘なをを養女に送るにつき)	安政6年未4月	1859	神戸十日市町 名主 磯部久左衛門(印)	高宮村 庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「安政六未年七右衛門養女 送り一札 高宮村え 神戸十日市町より」と書いた包紙入り
260	請込一札(庄右衛門娘小さが嫁に行くにつき)	安政6年未6月	1859	亀山領平田村 庄屋 藤田伝八郎(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「庄右衛門娘安政六未年 請込一札 高宮村え 平田村」と書いた包紙入り
261	宗旨請込一札(民三郎倅の房吉が養子に来るにつき)	安政7年申2月	1860	久居領鈴鹿郡 田茂村庄屋 岩間文三郎(印)	神戸御領鈴鹿郡 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「安政七申 宗旨請込 民三郎倅房吉 高宮村え 田茂村より」と書いた包紙入り
262	送り一札之事(長八娘とわが嫁に行くにつき)	安政7年申3月	1860	神戸領上田村 庄屋 市川喜平治(印)	同領高宮村庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「七郎兵衛妻上田村より安政七申 送り一札 高宮村え 上田村より」と書いた包紙入り
263	送一札(助右衛門倅の八右衛門が養子に行くにつき)	安政7年申3月	1860	亀山領 甲斐村庄屋 藪田源九郎(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「安政七申年善蔵養子 送一札 高宮村え 自甲斐村」と書いた包紙入り
264	請込一札(利右衛門娘とくが嫁に来るにつき)	万延元年申6月	1860	亀山領 長沢村庄屋 葉田文七(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「利左衛門娘とく 請込一札 高宮村へ 長沢村より」と書いた包紙入り
265	宗旨送り一札(よそが後妻に行くにつき)	万延元年申8月	1860	亀山領和無田村 庄屋 中沢喜三治(印)	神戸御領 高宮村 庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「浅七後妻 送り一札 万延元申八月 高宮村え和無田村」と書いた包紙入り
266	送り一札之事(庄八娘いまが嫁に行くにつき)	万延2年酉正月	1861	菟野領 山田村庄屋 長田幸吉(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「万延二酉年 多郎右衛門妻 送り一札 山田村」と書いた包紙入り
267	送り一札(儀平次娘きのが嫁に行くにつき)	万延2年酉3月	1861	亀山領 平田村庄屋 藤田伝八郎(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「助左衛門妻 送り一札 高宮村え 亀山領 平田村」と書いた包紙入り
268	送り一札之事(弥兵衛娘はなが嫁に行くにつき)	文久元年酉7月	1861	津領川曲郡 玉垣村庄屋 玉置儀三郎(印)・森田源七(印)・松野伊左衛門	神戸御領 高宮村庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「文久元酉八月作左工門妻 送り一札 高宮村え 玉垣村より」と書いた包紙入り
269	送り一札之事(多代蔵倅の多四郎が養子に行くにつき)	文久2年戌2月	1862	桑名領分 員弁郡田部村 庄屋 岩田庄五郎(印)、同村興正寺	神戸御領分 鈴鹿郡高宮村 庄屋 小川吉右衛門殿、高田宗同村 春蓮寺殿	状	1	「文久二戌年十兵衛養子多四郎 送り一札 員弁郡田部村より」と書いた包紙入り
270	請込一札(彦右衛門倅の久蔵が養子に来るにつ)	文久2年戌6月	1862	亀山領三重郡 北小松村庄屋 藤井又一郎(印)	神戸御領鈴鹿郡 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「彦右衛門倅久蔵受込 請込一札 高宮村へ 北小松村」と書いた包紙入り
271	請込一札(治郎助倅の豊吉が養子に来るにつき)	文久2年戌6月	1862	亀山領 南畑村庄屋 沢田栄作(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「文久二年戌六月治郎助男子豊吉 請込一札 高宮村え 南畑村より」と書いた包紙入り
272	人別送り一札(儀市妹たきが嫁に行くにつき)	文久2年戌6月	1862	亀山領 上野村庄屋 羽田宇右衛門(印)・文助(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「文久二戌年久助妻 人別送り一札 高宮村へ 上野村より」と書いた包紙入り
273	往来一札之事(出稼ぎに出る百姓喜兵衛の往来手形。包紙より高宮村で死去)	文久2年戌11月	1862	紀伊殿御領分 勢州安芸郡 大別保村庄屋 新出文太郎(印)	国々川々在々宿々村々 御役人衆中	状	1	「往来送り一札 文久二戌年十一月晦日儀右衛門二おみて死 高宮村墓所へ葬」と書いた包紙入り
274	送一札之事(都平娘つうが嫁に行くにつき)	文久3年亥6月	1863	亀山領 下大久保庄屋 田中仁兵衛(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「文久三亥年六月 林平倅直十郎妻 送一札 高宮村へ 下大久保村より」と書いた包紙入り
275	請込一札(喜左衛門妹かよが嫁に来るにつき)	文久3年亥6月	1863	亀山領 長沢村庄屋 羽田宇右衛門(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小川吉右衛門殿	状	1	「文久三亥年六月喜左衛門娘 人別請込 吉通 高宮村え 長沢村より」と書いた包紙入り
276	請込一札(又吉娘しげが嫁に来るにつき)	文久3年亥6月	1863	亀山領津賀村 庄屋 酒井利兵衛(印)	神戸御領 高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「文久三亥年六月又吉妹しげ 請込一札 高宮村え 津賀村より」と書いた包紙入り
277	請込一札之事(八右衛門娘はしが嫁に来るにつ)	元治元年子4月	1864	菟野領山田村 庄屋 長田幸吉(印)	神戸御領高宮村 御庄屋 小河市左衛門殿・小河三治郎殿	状	1	「八右衛門娘山田行 元治元年 請込一札 高宮村へ 山田村」と書いた包紙入り
278	請込一札(源松姉くにが嫁に来るにつき)	元治元年子6月	1864	亀山領 弓削村庄屋 磯部分四郎(印)・十三(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河三治郎殿・同市左衛門殿	状	1	「元治元子年六月源松姉くに 請込一札 高宮村え 弓削村より」と書いた包紙入り
279	請込一札之事(八兵衛娘いしが嫁に来るにつき)	元治元年子7月	1864	御料 馳出村庄屋 加藤勘四郎(印)	神戸御領 高宮村庄屋 小川三治郎殿・同市左衛門殿	状	1	「八兵衛娘いし 請込一札 元治元子年七月三重郡馳出村」と書いた包紙入り
280	送り一札之事(伊兵衛娘とまが嫁に行くにつき)	元治2年丑正月	1865	津領三重郡 河原田村 庄屋 来田彦左衛門(印)・瀬川新四郎(印)	神戸御領高宮村 庄屋 小河市左衛門殿・見習 小河三次郎殿	状	1	「角右衛門へ入妻 送り一札 元治二丑年 高宮村え 河原田村」と書いた包紙入り
281	送り一札之事(庄助娘みなが養女に行くにつき)	元治2年丑2月	1865	御公料上野村 年寄 水野吉兵衛(印)	神戸領鈴鹿郡 高宮村庄屋 小河市左衛門殿・小河三治郎殿	状	1	「元治二丑年六月与三郎妻 送り一札 高宮村へ 上野村」と書いた包紙入り

282	一札之事(当院譜代の由松が養子に行くにつき。当方譜代は除くので御帳に加えてほしい)	元治2年丑3月	1865	一身田御山内 伊藤通宣院(印)	神戸領鈴鹿郡高宮村 庄屋 小河市右衛門殿・小河三治郎殿	状	1	「慶応元丑年弥右衛門養子 送り一札 一身田より」と書いた包紙入り
283	宗旨送り一札之事(伊助娘ひなが嫁に行くにつき)	慶応元年丑6月	1865	亀山領 三日月村庄屋 山中源蔵(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「源右衛門妻慶応元丑年六月 送り一札 高宮村え 三日月村より」と書いた包紙入り
284	請込一札之事(多郎右衛門娘すゑが嫁に来るにつき)	慶応2年寅正月	1866	御料 石薬師宿 庄屋 坂倉藤兵衛(印)	神戸御領 高宮村 御庄屋 小河市左衛門殿・小河三治郎殿	状	1	「慶応二寅正月多郎右衛門娘 請込 高宮村へ 石薬師宿より」と書いた包紙入り
285	請込一札之事(忠兵衛娘かつが嫁に来るにつき)	慶応2年寅2月	1866	有馬兵庫頭領分 川曲郡南林崎村庄屋 田中庄兵衛(印)	本多伊予守様 御領分鈴鹿郡 高宮村御庄屋 小河市左衛門殿・同三治郎殿	状	1	「慶応二寅二月 請込一札 忠兵衛娘かつ 高宮村へ 南林崎村より」と書いた包紙入り
286	請込一札之事(孫四郎娘の月のが嫁に来るにつき)	慶応2年寅2月	1866	御料 石薬師宿 庄屋 坂倉藤兵衛(印)	神戸御領 高宮村 御庄屋 小川市左衛門殿・小川三治郎殿	状	1	「慶応二寅二月孫四郎娘 請込 高宮村へ 石薬師宿より」と書いた包紙入り
287	送り一札之事(喜助娘はるが嫁に行くにつき)	慶応2年寅2月	1866	神戸領木田村 庄屋見習 水原平三郎(印)、庄屋 水原平吉(印)	同御領 高宮村 御庄屋見習 小河三治郎殿、御庄屋小河市左衛門殿	状	1	「慶応二寅二月送り一札 十五郎妻 高宮村え 木田村」と書いた包紙入り
288	請込一札之事(十郎兵衛倅の吉次郎が養子に行くにつき)	慶応2年寅2月	1866	御料 石薬師宿 庄屋 坂倉藤兵衛(印)	神戸御領 高宮村 御庄屋 小川市左衛門殿、小川三治郎殿	状	1	「十郎兵衛倅吉次郎 請込一札 慶応二寅二月 高宮村へ 石薬師宿」と書いた包紙入り
289	送り一札之事(瀬川与左衛門娘てるが養女に行くにつき)	慶応2年寅3月	1866	津領三重郡 河原田村 庄屋 瀬川新四郎(印)、来田彦左衛門(印)	神戸御領鈴鹿郡 高宮村 庄屋 小川市左衛門殿	状	1	「慶応二寅年久次郎養女 送り一札 高宮村え 河原田村より」と書いた包紙入り
290	返券(武兵衛倅の勝之助が養子先不縁のため村方へ帰るにつき)	慶応2年寅3月	1866	亀山領鹿間村 庄屋 坂崎富五郎(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河市左衛門殿	状	1	「武兵衛倅勝之助慶応二寅年 返券 一通 高宮村え 鹿間村」と書いた包紙入り
291	送り一札之事(源右衛門娘ときが嫁に行くにつき)	慶応2年寅4月	1866	紀州領安芸郡寺家村 庄屋 長谷川伝十郎(印)	神戸領鈴鹿郡高宮村 庄屋 小川市左衛門殿・同三次郎殿	状	1	「長兵衛倅初蔵妻 上 慶応二寅年 紀州領安芸郡寺家村」と書いた包紙入り
292	送一札之事(樞右衛門娘きぬが嫁に行くにつき)	慶応2年寅8月	1866	紀州御領 安芸郡寺家村 庄屋 長谷川伝十郎(印)	神戸領 鈴鹿郡高宮村 庄屋小河三次郎殿・同市左衛門殿	状	1	「慶応二寅年善四郎後妻 送り一札 安芸郡寺家村」と書いた包紙入り
293	宗旨人別送り状之事(盲人の城久と妻しげが厄介人として行くにつき)	慶応2年寅10月	1866	大部田村庄屋 水谷五郎左衛門(印)	神戸御領 鈴鹿郡高宮村 庄屋 小川市左衛門殿	状	1	「源右衛門兄源松慶応二寅十月 宗旨人別送り状壹通 高宮村え津大部田村より」と書いた
294	請込一札之事(猪八娘つねが嫁に来るにつき)	慶応2年寅6月	1866	亀山領 中富田村庄屋 磯部分四郎(印)	神戸御領 高宮村 御庄屋 小河三治郎殿・同市左衛門殿	状	1	「慶応二寅年六月伊八娘つね 請込一札 高宮村え 中富田村より」と書いた包紙入り
295	請込一札之事(源右衛門妹ことが嫁に来るにつき)	慶応3年卯3月	1867	津領久居附 南堀江村庄屋 矢田新五郎(印)	神戸御領 高宮村庄屋見習 小河三治郎殿、庄屋 小河市左衛門殿	状	1	「請込一札 高宮村え 南堀江村より 源右衛門妹こと」と書いた包紙入り
296-1	送り一札之事(新蔵懸り人のあさかが嫁に行くにつき)	慶応3年卯3月	1867	尾州海東郡 草平新田 庄屋 渡辺孫兵衛(印)	伊勢国神戸領 高宮村 庄屋 小河市左衛門殿	状	1	端裏「半吉女房」
296-2	送り一札之事(嫁入り一札の雛形)	—	—	—	伊勢国神戸領 高宮村 庄屋 小河市左衛門宛	状	1	
297	人別請込一札之事(庄七倅の太郎八54歳が養子に来るにつき。数年出稼ぎに来たのちのこと)	慶応3年卯3月	1867	御料 石薬師宿 庄屋 平兵衛(印)	神戸領 高宮村御庄屋 小川市左衛門殿、御庄屋見習 同三治郎殿	状	1	「慶応三卯六月 人別請込一札 庄七倅太郎 高宮村え 石薬師宿より」と書いた包紙入り
298	請込一札(浅七娘みつが嫁に来るにつき。慶応3年の一札紛失のため明治2年に亀山宿東町庄屋 伊藤伊兵衛が再発行した旨の奥書あり)	慶応3年卯6月	1867	亀山宿 庄屋後見 林多兵衛、庄屋 木下卯右衛門	神戸領高宮村 御庄屋 小河三治郎殿・小河市左衛門殿	状	1	「浅七娘みつ 請込一札 高宮村え 従亀山」と書いた包紙入り
299	請込一札(喜左衛門妹ふみが嫁に来るにつき)	慶応3年卯6月	1867	亀山領深溝村 庄屋 館文兵衛(印)	神戸御領高宮村 御庄屋 小川三次郎殿	状	1	「請込一札 喜左衛門娘ふみ 高宮村へ 従深溝村」と書いた包紙入り
300	送り一札之事(平十郎妹みなが嫁に行くにつき)	慶応3年卯3月	1867	御公料 鈴鹿郡庄野宿 庄屋 小林小兵衛(印)	本多伊予守様御領分 鈴鹿郡高宮村 御庄屋 小河市左衛門殿、同見習 小河三治郎殿	状	1	「慶応三卯三月 送一札 浅七倅浅五郎妻 高宮村え 庄野宿」と書いた包紙入り
301	送り一札之事(孫四郎娘りのが嫁に行くにつき)	慶応4年辰2月	1868	国分村 取締 玉田弥十郎(印)	高宮村 庄屋 小河三治郎殿	状	1	「送り一札 猪右衛門倅猪之助妻 高宮村え 国分村より」と書いた包紙入り
302	宗旨送り一札之事(清七娘とみが嫁に行くにつき)	慶応4年辰3月	1868	御領 庄野宿 庄屋 小林小兵衛(印)	本多河内守様御領分 高宮村御庄屋 小河三次郎殿	状	1	「宗旨送り状 次三郎女房 高宮村え 庄野宿」と書いた包紙入り
303	送り一札之事(平太娘かのが嫁に行くにつき)	慶応4年辰3月	1868	菰野領 山田村庄屋 長田幸吉(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小川市左衛門殿	状	1	「送り一札 慶応四辰三月甚兵衛倅磯右衛門女房 高宮村へ 山田村」と書いた包紙入り
304	請込一札之事(八兵衛娘の小さいのが嫁に来るにつき)	慶応4年辰3月	1868	禁裏御料 馳出村 庄屋 加藤寛太郎(印)	神戸領 高宮村 庄屋 小河三治郎殿	状	1	「慶応四辰二月 八兵衛娘小さいの 請込一札 高宮村へ 馳出村より」と書いた包紙入り
305	請込一札之事(源六娘やゑが嫁に行くにつき)	明治元年辰12月	1868	御料 石薬師宿 庄屋 疋田平兵衛(印)	神戸領 高宮村 御庄屋 小河三治郎殿・小河吉兵衛殿	状	1	「人別請込 明治元年辰十二月 源六娘やゑの事 高宮村へ 石薬師宿」と書いた包紙入り

306	古郷送り手形之事(高宮村の孫四郎・孫七の湯治のための道中手形)	慶応4年辰8月	1868	高宮村庄屋 小河参治郎(印)	諸国宿々町々在々船川 御役人衆中様	状	1	「古郷送り一札」と書いた包紙入り
307	請込一札之事(伊右衛門娘そのが嫁に来るにつき)	明治元年辰12月	1868	御領 石薬師村 庄屋 疋田平兵衛(印)	神戸領 高宮村 御庄屋 小河三治郎殿・小河吉兵衛殿	状	1	「請込一札 明治元辰十二月伊右衛門娘その高宮村え 石薬師村」と書いた包紙入り
308	送り一札之事(藤八娘いまが嫁に行くにつき)	明治2年巳正月	1869	亀山領 北畑村庄屋 堤源六郎(印)	神戸御領分 高宮村御庄屋 小河三治郎殿・小河吉兵衛殿	状	1	「送り壱通 彦右衛門倅嘉蔵妻 神戸御領高宮村え 亀山領北畑村より」と書いた包紙入り
309	宗旨請取一札之事(善蔵娘の宗旨送り受取につき)	明治2年5月	1869	江州志賀郡 平津村 庄屋井上弥左衛門(印)	庄野 御役人中様	状	1	「明治二巳五月 宗旨請取 善蔵娘ふよ」と書いた包紙入り
310	請込一札(喜左衛門妹ふでが嫁に来るにつき)	明治2年巳6月	1869	亀山領 深溝村 庄屋 館佐太治(印)	神戸御領分 高宮村御庄屋 小河参治郎殿	状	1	「請込一札 明治二巳六月喜左衛門妹婦で 神戸御領 亀山領 高宮村江深溝村より
311	送り一札(忠蔵幼女きく・その娘2人が厄介として行くにつき)	明治2年巳6月	1869	津領久居付一志郡 小山村庄屋 久谷兼三郎(印)	神戸領鈴鹿郡 高宮村庄屋 小河参治郎殿	状	1	「送り一札 神戸領高宮村へ 小山村より」と書いた包紙入り
312	受込一札之事(喜左衛門妹よそが嫁に来るにつき)	明治2年巳6月	1869	亀山領 小田村庄屋 磯部平治(印)	神戸御領 高宮村御庄屋 小河参治良殿	状	1	「請込一札 高宮村え 小田村より」と書いた包紙入り
313	請込一札(六兵衛娘きやうが嫁に来るにつき)	(明治2)巳6月	1869	亀山宿 年寄 草川孫兵衛(印)	神戸領高宮村庄屋 小河三治郎殿	状	1	「請込壱通 高宮村へ 亀山宿西町 帳済」と書いた包紙入り
314	送り一札之事(小三郎娘よそが嫁に行くにつき)	明治2年巳9月6日	1869	津藩支配所 鈴鹿郡加太村庄屋 古市寛之助(印)・森田正太郎(印)	神戸藩 御支配所 高宮村庄屋 小河市左衛門殿	状	1	(裏端書)明治二巳 孫左衛門女房
315	送り一札之事(半治郎妹かやが嫁に行くにつき)	明治2年巳10月	1869	神戸藩支配所 木田村庄屋 水原平三郎(印)	高宮村 御庄屋 小河三治郎殿	状	1	「送り一札 明治二年 高宮村え 従木田村」と書いた包紙入り
316	送り一札之事(善七娘さんが嫁に行くにつき)	明治2年巳11月	1869	川合村 庄屋 早川瀬吉(印)	高宮村 御庄屋 小河参治郎殿	状	1	「送り一札 明治三午二月五右衛門倅弥蔵女房 川合村より」と書いた包紙入り
317	請込一札之事(浅右衛門娘はしが嫁に来るにつき)	明治3年午正月	1870	度会県支配所 同国同郡庄野宿 庄屋 森勝右衛門(印)	神戸藩御支配所 伊勢国鈴鹿郡 高宮村御庄屋 小河新九郎	状	1	「請込 明治三午 高宮村へ 庄野宿」と書いた包紙入り
318	請込一札之事(浅右衛門娘しげが嫁に来るにつき)	明治3年午正月	1870	度会県支配所 同国同郡庄野宿 庄屋 森勝右衛門(印)	神戸藩御支配所 伊勢国鈴鹿郡 高宮村御庄屋 小河新九郎	状	1	「請込 高宮村へ 庄野宿」と書いた包紙入り
319	請込一札之事(七郎兵衛娘すなが嫁に来るにつき)	明治3年午正月	1870	度会県支配所 同国同郡庄野宿 庄屋 森勝右衛門(印)	神戸藩御支配所 伊勢国鈴鹿郡 高宮村御庄屋 小河新九郎	状	1	「請込 七良兵衛娘 高宮村へ 庄野宿」と書いた包紙入り
320	送り一札之事(七兵衛娘はるが養女に行くにつき)	明治3年午正月	1870	度会県御支配所 川曲郡白子村 庄屋 中川伝兵衛(印)・宮崎三良右衛門(印)	神戸藩御支配所 鈴鹿郡高宮村 庄屋 小河新九郎殿	状	1	「送り一札 市左衛門養女 高宮村え 白子村より」と書いた包紙入り
321	宗旨請込一札之事(宗四郎倅の音吉が養子に来るにつき)	明治3年午3月	1870	久居藩支配所 鈴鹿郡中庄村長 宮村兵吾(印)	神戸藩御支配所 鈴鹿郡高宮村 庄屋 小河新九郎殿	状	1	「宗旨請込一札 明治三午 高宮村え 中広村より」と書いた包紙入り
322	請込一札之事(浅右衛門娘いわが嫁に来るにつき)	明治3年午7月	1870	度会県支配所 同国同郡庄野宿 庄屋 森勝右衛門(印)	神戸藩御支配所 伊勢国鈴鹿郡 高宮村 御庄屋 小河新九郎	状	1	「人別請込 明治三午 高宮村へ 庄野宿」と書いた包紙入り
323	送り一札之事(利藤新八姉さみが嫁に行くにつき)	(明治4)辛未3月	1871	神戸藩管轄 鈴鹿郡高宮村 庄屋 水原平三郎(印)	神戸萱町 御名主 鈴木権六殿・相原源平殿	状	1	
324-1	送り一札之事(小浜与八郎娘よのが嫁に行くにつき)	明治4年辛未5月	1871	亀山藩支配所 河曲郡南若松村 庄屋 加藤孫太郎(印)	神戸藩 御支配地 高宮村 御庄屋 水原平三郎殿	状	1	
324-2	覚(よのの年齢・親について)	(明治4年)	1871	—	—	他	1	
325	送り一札之事(惣市妹みつが嫁に行くにつき)	明治4年未5月	1871	津藩管轄所 三重郡河原田村庄屋 瀬川新四郎(印)	神戸藩御支配地 高宮村庄屋 水原平三郎殿・小河三次郎殿	状	1	「送り一札 高宮村え 河原田村より」と書いた包紙入り
326	請込壱札之事(和田新助娘たがが養女に来るにつき)	明治4年辛未5月	1871	吹上藩管轄所 川曲郡 西林崎村庄屋 杉原彦八(印)	神戸藩御管轄所 高宮村御庄屋 水原平三郎殿	状	1	「請込壱札 高宮村え 西林崎村より」と書いた包紙入り
327	送一札之事(吉田藤次郎の厄介の順次郎が高宮村神主方に養子に行くにつき)	明治4年未6月	1871	津藩管轄所 一志郡大村庄屋 上田至平(印)	神戸藩管轄所 鈴鹿郡高宮村庄屋 水原平三郎殿	状	1	「送り一札 鈴鹿郡高宮村え 鈴木準次郎 一志郡大村」と書いた包紙入り
328	送り一札之事(小三郎娘よしが嫁に行くにつき)	明治4年未6月	1871	津藩管轄 鈴鹿郡加太村 庄屋 記太文七郎(印)・古一保左衛門(印)	神戸藩御管轄 鈴鹿郡高宮村庄屋 水沢平三郎殿	状	1	「送り一札 高宮村え 加太村より 請込遣ス」と書いた包紙入り
329	(高宮村の菊のほか2名が藤田音吉の厄介として送籍されてきた請込状)	明治4年辛未10月	1871	(伊勢国一志郡本村)第四区戸長副松岡嘉平次(印)、戸長 信藤勘十郎	神戸県御管下 伊勢国鈴鹿郡 高宮村 戸長御中	状	1	「請込状 高宮村エ 本村より」と書いた包紙入り
330	請込一札(野口左古左衛門弟の豊吉が養子に来るにつき)	—	—	元和歌山県管轄 安芸郡寺家村 副戸長 山中吉郎兵衛(印)	神戸県御管轄 鈴鹿郡高宮村 副戸長 小河三治郎殿	状	1	「請込一札 庵芸郡寺家村」と書いた包紙入り
331	乍恐奉願上候口上(利藤新八郎姉さみの縁組入籍願。市老 磯部久一郎ほか2名からの奥印あり)	明治4年辛未6月	1871	萱町願主 千年屋 園田平吉(印)、組頭中村屋 寺尾半四郎(印)、名主 相原源左(印)・鈴木権六(印)	神戸藩御役所	状	1	

332	入籍証(井分十郎兵衛次男の一太郎が萩野徳平の入婿に来るにつき)	(明治4)辛未8月11日	1871	度会県管轄 第貳拾区戸長 鈴鹿郡 石薬師村 平尾地久郎(印)	神戸藩御管轄 同郡高宮村 戸長 玉田弥十郎殿、副戸長 小河参治	状	1	「入籍証 高宮村へ 石薬師 十郎兵衛」と書いた包紙入り
333	入籍証(小河伝五郎娘はるのが嫁に来るにつき)	明治4年辛未8月	1871	度会県管轄 第貳拾区戸長 同国同郡 庄野村 森勝美(印)	神戸藩御管轄 当国鈴鹿郡高宮村 戸長 玉田弥十郎殿、副戸長 小河参治郎殿	状	1	「入籍証 高宮村へ 庄野村」と書いた包紙入り
334	送籍之事(小森平三郎亡長女妹ぬいが嫁に行くにつき。度会県庁の裏書あり)	明治4年辛未9月2日	1871	度会県管轄 第貳拾区戸長 同国同郡 庄野村 森勝美(印)	神戸藩御管轄 当国鈴鹿郡高宮村 戸長 玉田弥十郎殿、副戸長 小河参治郎殿	状	1	
335	証(佐藤たねが嫁に行くにつき送籍書)	明治5年壬申8月	1872	第五大区一之小区神戸 副戸長 伊藤宗九郎(印)、戸長 磯部董策(印)	三重県管轄 第六大区三之小区 鈴鹿郡高宮村 戸長御中	状	1	「送籍 高野岩吉妻」と書いた包紙入り
336	(太田嘉平妻ふちが離縁するため送籍書)	明治5年壬申11月	1872	第六大区三之小区石薬師 副戸長 岡野彦五郎(印)、戸長 平尾地久郎	同区高宮村 戸長御中	状	1	
337	請込(銀兵衛妹とめが嫁に来るにつき)	安政4年巳正月	1857	御領 石薬師宿 庄屋 疋田平兵衛(印)	神戸御領 高宮村 御庄屋 小河吉右衛門殿	状	1	「銀兵衛妹むめ 請込 高宮村え 石薬師宿」と書いた包紙入り
338	巳之年高宮村新屋敷新畑検地帳	寛文5年8月20日	1665	室弥三兵衛(印)、福四郎右衛門(印)、平久右衛門(印)	高宮村 庄屋・年寄・百姓中	横	1	
339	中井田新田畑改覚(検地)	貞享4年卯	1687	竿取 安兵衛(印)ほか10名	—	折	1	
340	勢州鈴鹿郡 高宮村新田畑検地帳(表紙に鈴木八右衛門の印あり)	貞享4年卯2月	1687	鈴木八右衛門内 太田安右衛門(印)・青木勘右衛門(印)・木原与右衛門	—	縦	1	反合11町9604 分米92石989
341	田畑屋敷内平均帳 鈴鹿郡高宮村(貞享4年検地帳の改訂)	正徳4年午2月	1687	孫四郎(印)、太郎右衛門(印)、仙四郎(印)ほか107名	—	縦	1	無田36石余を処理するため
342	(高宮村より取水している津賀村の用水につき井浚などの手続きにかんして書状)	(享保17年か)11月19日	1732	神戸与惣右衛門(花押)、前田伊左衛門(花押)、熊木何左衛門(花押)	山本浅野右衛門様、脇谷常右衛門様、秋山武左衛門様	状	1	津賀村側領主から幕府代官下役へ。高宮村は幕料
343	高反別永荒書上帳 勢州鈴鹿郡高宮村	享保19年寅6月	1734	高宮村 庄屋 伝左衛門(印)、年寄 源右衛門(印)	御郡代所	縦	1	
344-1	新田畑屋敷御検地帳写(寛文5年新屋敷新畑検地帳、貞享4年中井田新田畑改覚・新田畑検地帳など)	元文3年巳8月	1738	—	—	縦	1	元文3年は午
344-2	(寛文5年新屋舗新田畑検地帳・貞享4年中井田新田畑改の袋書の断簡)	—	—	—	—	他	1	
345	御公料信楽御代官所多羅尾四郎右衛門様御支配之節 新田畑村改検地帳	延享元年子10月	1744	庄屋 源兵衛・忠兵衛、年寄 伝兵衛	—	縦	1	
346	高宮村百姓持松林改帳	寛延元戊辰11月	1748	中川佐兵衛(印)	庄屋、年寄	縦	1	表紙の年号は延享5年
347	双方立会分間帳 一番 津賀村	安永6年酉7月24日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	
348	双方立会分間帳 貳番 津賀村	安永6年酉7月25日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	
349	双方立会分間帳 三番 津賀村	安永6年酉7月27日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)深溝場口より 済
350	双方立会分間帳 四番 津賀村	安永6年酉7月28日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)小倉場 済
351	双方立会分間帳 五番 津賀村	安永6年酉8月6日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)用水溝井川始り
352	双方立会分間帳 六番 津賀村	安永6年酉8月7日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	
353	双方立会分間帳 七番 津賀村	安永6年酉8月9日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)中之塚迄 帳済
354	双方立会分間帳 八番 津賀村	安永6年酉8月10日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)山かしまい
355	双方立会分間帳 九番 津賀村	安永6年酉8月11日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)高神山道 送り塚からまい
356	双方立会分間帳 拾番 津賀村	安永6年酉8月12日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)風呂谷済
357	双方立会分間帳 拾壹番 津賀村	安永6年酉8月14日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)川筋済
358	双方立会分間帳 拾貳番 津賀村	安永6年酉8月16日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)津賀村用水
359	双方立会分間帳 拾参番 津賀村	安永6年酉8月17日	1777	久左衛門(印)	—	半横	1	(朱書)津賀村搔箱
360	訴訟之節絵図面 一枚 本多駒之助領分伊勢国鈴鹿郡高宮村(津賀・高宮両村地境論所の絵論所二取込津賀村色取二仕候高宮村田地反別銘々持主覚 高宮村)	安永6年酉9月	1777	濃州石津郡高須町 絵師勘十郎(印)	—	他	1	双方立会分間のうえ100間を4寸にして描く。180×252cm。袋入り
361-1	論所二取込津賀村色取二仕候高宮村田地反別銘々持主覚 高宮村	(安永6)酉9月	1777	勢州鈴鹿郡高宮村 庄屋 与右衛門、年寄 宗七	—	縦	1	
-2	論所二取込津賀村色取二仕候高宮村田地反別銘々持主覚 勢州鈴鹿郡 高宮村	(安永6)酉9月	1777	勢州鈴鹿郡高宮村 庄屋 与右衛門、年寄 宗七	—	縦	1	
-3	論所二取込津賀村色取二仕候高宮村田地反別銘々持主覚 勢州鈴鹿郡 高宮村	(安永6)酉10月	1777	勢州鈴鹿郡高宮村 庄屋 与右衛門、年寄 宗七	—	縦	1	
362	高塚松林名寄帳 高宮村	安永8年亥12月	1779	—	—	縦	1	(貼書・朱書 一、廿四番)

363	柴田左文治様・福田興一郎様え 五百石永久御免願(助郷勤め高の減免願)	享和2年戌12月	1802	高宮村 年寄 吉右衛門・半左衛門・利左衛門、庄屋 勇助	柴田左文治様、福田興一郎様	縦	1	
364	信楽 御役所様え奉願上候願書扣(庄野宿増助郷の継続願)	文化9年申12月	1812	庄野宿附助郷惣代 高宮村庄屋 利左衛門	信楽 御役所様	縦	1	
365	覚(庄野宿増助郷継続願のため信楽役所での交渉日記)	(文化9)申12月	1812	—	—	横	1	
366	乍恐以書付奉願上候(高宮・汲川原両村困窮のため庄野宿増助郷3000石の継続願)	文化9年申12月	1812	庄野附助郷惣代 高宮村庄屋 理左衛門	信楽 御役所様	状	1	
367	江戸願書之控 高宮村(庄野宿増助郷の継続願。訴願に含まれる汲川原・高宮両村惣代が領主に届け、本多丹後守使者 佐藤宇右衛門の奥書あり)	文化10年酉6月	1813	多羅尾四郎次郎御代官所 東海道庄野宿 問屋 嘉兵衛、(国府村など)拾三ヶ村惣代 石川主殿頭領分 国府村 庄屋 弥野右衛門・本多丹後守領分 高宮村 年寄 吉右衛門	道中 御奉行所様	縦	1	
368-1	文化十年酉五月助郷増高三千石江戸表長谷部罷下相願候節、惣郷一同申立之次第認遣候節、当村分申年御免相を以相認遣候趣并宮戸宇岩木逆水之訳 高宮村	文化11年戌3月	1814	—	—	縦	1	
-2	庄野増助郷願候諸事扣(訴願の見分役人の廻村案内記)	文化11年戌11月	1814	—	—	横	1	11月26日～12月20日に廻村
369	願書 高宮村(見分役人へ提出した願書下書き。庄野宿助郷勤高半高御救免の継続願)	文化11年戌12月	1814	高宮村 百姓代 常右衛門、年寄 吉右衛門、庄屋 与三右衛門	服部平十郎様、鈴木栄助様	縦	1	
370	文化十一戌年助郷御見分 服部平十郎様・鈴木栄助様え 荒高・新高永久御免願 高宮村(庄野宿助郷勤高半高御救免の継続願)	文化11年戌12月	1814	高宮村 百姓代 常右衛門、年寄 吉右衛門、庄屋 与三右衛門	服部平十郎様、鈴木栄助様	縦	1	
371	御願書(両村難渋につき、庄野宿助郷勤め高の3分の2の免除願下書)	弘化3年午正月	1846	本多伊予守領分 勢州鈴鹿郡高宮村 年寄 十郎右衛門・吉兵衛、汲川原村 年寄 要助、庄屋 七兵衛	道中 御奉行所様	縦	1	
372	御願書之写(両村難渋につき、庄野宿助郷勤め高の3分の2の免除願。御役所あての取次ぎ願いの奥書あり)	弘化3年午正月	1846	本多伊予守領分 勢州鈴鹿郡高宮村 役人惣代 年寄 吉兵衛、汲川原村 庄屋 七兵衛	道中 御奉行所様	縦	1	
373	高宮村往還出水之節、人馬通路留御注進之扣	(弘化3年ころ)	1846	—	—	横	1	天保9～弘化3年の分
374	助郷差村帳(川崎村ほか5ヶ村の高書上)	弘化3年午正月	1846	高宮村 役人惣代 年寄 吉兵衛(印)、汲川原村 同 庄屋 七兵衛	—	横	1	
375	道中日記(江戸旅行の小使い帳。名所覚もあり)	～	1847	—	—	半横	1	
376	(盆前の人足賃・食事代請求書)	(弘化4)未11月	1847	庄野宿伏見屋(印)	高宮村 御役人中様	綴	1	
377	(助郷経費の高宮・汲川原・高岡村分担勘定)	—	—	—	—	綴	1	
378	御公役御光駕二付諸事扣 高宮村(買物・支出・人足覚)	弘化4年未5月	1847	—	—	横	1	
379-1	助郷願諸入用帳 高宮村(江戸・桑名・山田行)	弘化4年未	1847	—	—	横	1	
379-2	出府入用割	(弘化4)未3月	1847	—	—	状	1	379-2・3は畳んだ状態で1の綴じ紐に結んである
379-3	覚(江戸・桑名・山田行き経費勘定)	(弘化4)未3月	1847	—	—	状	1	
380	覚(酒肴代金受取証)	(弘化4)未11月晦	1847	庄の 岩見屋 喜兵衛	汲川原・高宮邑 御役人衆中	状	1	
381	覚(郷宿入用・山田行日雇賃の分担額覚)	酉3月	—	市川七兵衛	小川吉右衛門様	状	1	
382	(津賀・高宮両村の論所地改のための人馬先)	亥6月18日	—	—	—	綴	1	代官手代2名が出張
383	(出役の肩書き方につき御容赦願下書き。「論所御見分」か「秣場御見分」か)	—	—	—	—	状	1	提出書類の宛名書き方の不備について用捨を願う
384	庄野宿より願書差上候二付入訳御尋被仰出書上之一件(助郷人馬の立方について庄野宿が出願した一件の経過日記)	(明治元年)	1868	—	—	横	1	
385	(越石高の由来と年貢について覚)	—	—	—	—	状	1	宿場伝馬屋敷の替りに認められたもの
386	覚(助郷、堤長、家数、往還長などのメモ)	—	—	—	—	折	1	「高塚山出入 御八判之写壺通」という包紙を利用
387	覚(高宮・汲川原村の過不足金メモ。助郷関係)	—	—	—	—	状	1	
388	亀山県御免相(安永4～明治4年の免状提出)	(明治5)申2月9日	1872	—	—	折	1	
389	田畑御年期明細取調帳 高宮村(神戸県役所への下書)	明治4年辛未10月改	1871	—	—	縦	1	

390	御林御改帳 控	明治5年壬申正月	1872	伊勢国鈴鹿郡 高宮村	—	縦	1	
391	当未貢米割附皆済目録帳 控	明治5年壬申正月	1872	鈴鹿郡 高宮村	—	縦	1	
392	長寿人別帳并二村役人印鑑帳控	明治5年壬申正月	1872	鈴鹿郡 高宮村	—	縦	1	
393	高反別取調帳	明治5年壬申正月	1872	伊勢国鈴鹿郡 高宮村	—	縦	1	
394-1	荒地取調帳	明治5年壬申正月	1872	伊勢国鈴鹿郡 高宮村	—	縦	1	
394-2	本帳引合せ渡ス 御普請明細帳 控	明治5年壬申正月	1872	伊勢国鈴鹿郡 高宮村	—	縦	1	
395	約定証一札之事(深溝村の地所申し受けにあたり、秣肥土・井溝浚につき約定書下書)	明治8年9月	1875	高宮村 小前惣代 小川藤七、組頭 小川浅九郎・渡部喜三郎、用懸 鈴木準二	深溝村 御役衆御中	状	1	
396	約定証之事(地所引き渡しにあたり、苦情を言わないとの約定書下書)	(明治8年)	1875	深溝村 小前惣代・組頭・用懸	高宮村 御役衆御中	状	1	
397	共有米貸付帳	明治36年1月～	1903	大字高宮区総代	—	横	1	昭和21年3月まで書き継ぎ
398	(豊凶坪刈成績報告書)	大正14年10月31日	1925	高津瀬村農会(印)	岡田定吉殿	状	1	(ガリ版刷)
399	(高津瀬村大字高宮字藤井1459番の原野売買の協約書。登記書類も綴じ合わせ)	大正15年11月25日	1926	高宮区総代 岡田定吉(印)、上田区長 市川竹治郎(印)	—	綴	1	「高宮 岡田氏保存 佐野七三郎殿外壳渡証入」と書いた封筒入り
400	(保存登記の経費のメモ)	5月20日	—	渡辺寅蔵(印)	岡田健治郎様	状	1	
401	乍恐以書付奉申上候(津賀村村境出入で前回とは違う者が江戸入りしたにつき)	安永8亥年3月晦日	1779	本多伊予守領分 勢州鈴鹿郡高宮村 庄屋 与右衛門、与頭 平左衛門	寺社 御奉行所様	状	1	
402	乍恐以書付御訴訟申上候(高宮村との松植地について境論訴状。酉6月2日付けの美濃ほか9名から高宮村あての召喚奥書あり)	安永6年酉6月	1777	石川宗十郎領分 勢州鈴鹿郡津賀村 庄屋 久左衛門、肝煎 甚六、百姓代 伝兵衛・清六	寺社 御奉行所様	状	1	「安永九子年 御裁許証文 本多伊予守領分 勢州鈴鹿郡 高宮村 (貼紙)御本紙」と書いた包紙入り
403	(代替わりにあたり裁許証文2通提出の覚)	安永9年子10月	1780	—	—	状	1	
404	記録(大字高宮区会議での決議。公共団体名義または内実は団体による興行を認めない)(封筒のみ。「甲第三号在中」)	大正15年10月15日	1926	総代 岡田定吉(印)、副総代2名、組長11名	—	縦	1	
405		明治13年10月4日	1880	東京小石川区小石川諏訪町 小島官吾	三重県下鈴鹿郡 高宮村 小川伊助様	他	1	
406	送り一札(包紙のみ)	安政5年午8月	1858	高宮村	庄野宿え	他	1	久作姉縁帰り
407-1	「米七斗申暮より売上ヶ有」(付箋)	—	—	—	—	他	1	
407-2	(25俵の直段・地子についての付箋)	—	—	—	—	他	1	
407-3	「(朱書)一 三拾三番 壱通」(付箋)	—	—	—	—	他	1	
407-4	(佐藤たねの職業・係累などにつき質問の付箋)	(明治5)壬申9月	1872	第六大区三ノ小区 戸長(印「森」)	第五大区一ノ小区 戸長御中	他	1	
408	(文書の出処メモ。野口奠一総代)	—	—	—	—	他	1	
409	(文書の二重箱。溜め塗外箱の蓋裏「村方大切之証文絵図并帳面類入箱挟箱壱荷、此内二桐打覆蓋式箱各木綿真田紐中結 岡田与三右衛門代誂之」、内箱蓋裏「村方大切之絵図証文帳面入 外箱溜塗箱挟箱二入 岡田与三右衛門	—	—	—	—	—	1組	この中に整理の旧袋を納める。外箱56.8×38.2×高38.5cm
410	(文書の二重箱。溜め塗外箱の蓋裏「村方大切之証文絵図并帳面類入箱挟箱壱荷、此内二桐打覆蓋式箱各木綿真田紐中結 岡田与三右衛門代作之」、内箱蓋表「村方大切之絵図証文帳面入 外箱溜塗箱挟箱二入 岡田与三右衛門代作之」、同裏「村方大切之書物入」)	—	—	—	—	—	1組	この中に整理の旧袋、津賀村との争論裁許証文の木箱を納める。外箱56.8×38.2×高38.5cm